

人と人、地域と地域、  
人と地域をつなぐ・・・

# F U R E サテライト新聞

2017年9月 第15号

福島大学  
イメーჯキヤラめばえちゃん

発行元  
福島大学つくしまふくしま未来支援センター(FURE)  
相双地域支援サテライト

ホームページ <http://fjs.fure.fukushima-u.ac.jp/>

(住所：双葉郡楳葉町下小嶋字差入31 (楳葉まなび館内))

大会は、交流人口の拡大を図ること、自転車競技運営などを手がけた。

一部地域の避難指示解除から1年が過ぎた葛尾村で去る6月、初のサイクリングイベント「ツール・ド・かつらお」が行われた。北は青森、南は静岡より、小学生から70代の自転車愛好家が集い、夏の緑がまぶしい村内を銀輪が駆け抜けた。

**葛尾村 サイクリング イベント ツール・ド・かつらお 開催！**

交流人口拡大を目指し初開催  
約160人が村内駆け抜ける



た。大イベントに、村民も成功に向けて協力。婦人会ではカレーライスを振る舞い、参加者は“村のおかぢやん”の手作りご飯でエネルギーを補給した。婦人会員は声援も送り、参加者の力に大を回らせた。

村内は、アツい。サイクリング愛好者が自然豊かな景色や、復興途上の様子をしながら、約31キロのコースを駆け抜けた。途中には、約4キロの実施し、盛り上がりた。一大イベントに、村民も成功に向けて協力。婦人会ではカレーライスを振る舞い、参加者は“村のおかぢやん”の手作りご飯でエネルギーを補給した。婦人会員は声援も送り、参加者の力に大を回らせた。



青空の下約150人が参加したツール・ド・かつらお(写真提供・葛尾村役場)

参加者のお腹を満たした婦人会手作りのカレーライス(同)

た。いずれも村内で生活する人にとっては無くてはならない店で、再開に多くの人が喜びの声を上げてきている。老舗の食料品・雑貨店として親しまれていた「マルイチ商店」は4月に再開。また、7月には村唯一のコンビニエンスストア「ヤマザキヤ」や「三ツツヤ」の店舗では大盛りの店としても人気を集めた飲食店・食料品店の「石井食堂」も相次いで再

るLink村民のもてなしと好評だった大会。秋には、ロードレースの大会を開く計画もあり、自転車法人あぶくま地域づくりの共催で行われた。約160人が参加した。村の名前が「葛尾村」の名前が広がっていく可能性も。今回の狙い通り、自転車愛好家は、宿泊交流館まで入り、流館まで入り、の里せせらぎ荘をスタート。ゴールに行き、アツい。

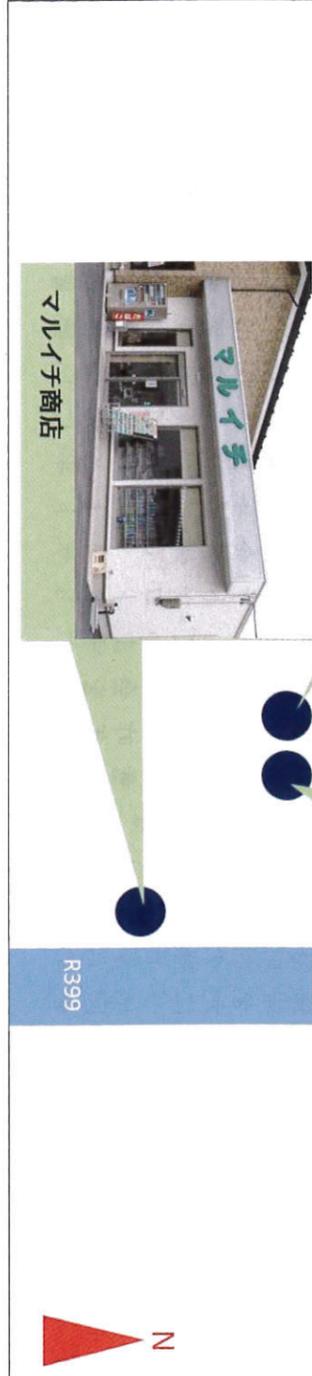


**葛尾村**  
飲食店、食料品店など3店舗が営業を再開

村長の生活がより便利に

た。いずれも村内で生活する人にとっては無くてはならない店で、再開に多くの人が喜びの声を上げてきている。老舗の食料品・雑貨店として親しまれていた「マルイチ商店」は4月に再開。また、7月には村唯一のコンビニエンスストア「ヤマザキヤ」や「三ツツヤ」の店舗では大盛りの店としても人気を集めた飲食店・食料品店の「石井食堂」も相次いで再

葛尾村では避難指示解除から1年が過ぎた7月末までに、3つの店舗が営業を再開し、営業時間は次の通り。  
◇ヤマサ▽営業時間 午前7時～午後7時  
◇マルイチ商店▽営業時間 午前7時～午後7時  
◇石井食堂▽営業時間 午前7時～午後7時30分  
◇マルイチ商店▽営業時間 午前9時～午後6時  
◇マルイチ商店▽営業時間 午前9時～午後6時



日▽定休日なし◇石井食堂▽営業時間 午前7時～午後7時30分  
◇マルイチ商店▽定休日 日曜日◇マルイチ商店▽営業時間 午前9時～午後6時  
◇マルイチ商店▽営業時間 午前9時～午後6時

**主催** プログラミングWS  
**開講**  
 12月までの4回 小中学生が  
 プログラミングの基本を学ぶ  
**川内村教委**  
**サテライト**

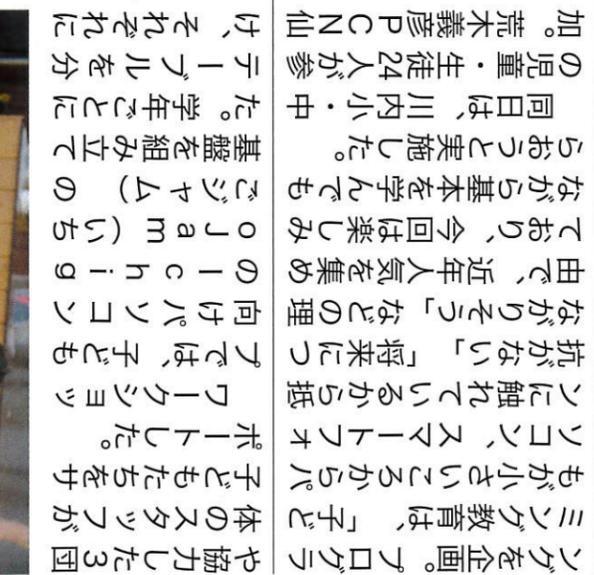


川内村教委・相双地域支援サテライト主催PCNいわき、キッズ・プログラミングワークショップ(さくらインターネット)の協力で、今年春休みに当サテライトが実施した、理科実験を組み合わせた「サイエンス&ラボ」の小中学「サイエンス&ラボ」が好評を得て、今回は生が、プログラミングの基本を楽しみながら学んだ。いわき明星電子工作、プログラミング



真剣な表情ではんだごてを操り、基盤を組み立てた

ングを企画。プログラミング教育は、「子どもが小さいころからパソコン、スマートフォンに触れているから抵抗がない」「将来に役立つでは、子どもも向けパソコンのIchigoJam(いちごじゃま)の基盤を組み立てた。学生ごとに同日は、川内小・中の児童・生徒24人が参加。荒木義彦PCN仙台代表、中尾剛いわきスタツプが付き、はんはんだごてを使うことだごてによるケガなどに注意しながら進めらさんたちの教えを守り、多くの子どもは業をこなした。



きちんと組み立てられたかな?動作確認する子どもたち



WS中は、子ども同士で助け合う姿も

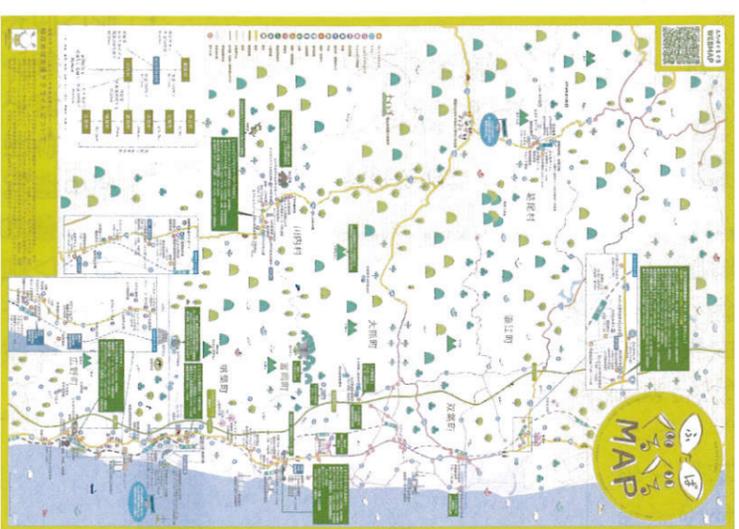
組み立てた基盤が動作するかのチェックを行い、完成したことを示すランプが点滅すると、達成感に満ちた、喜びの表情を浮かべた。完成後は、キーボードとモニターを接続、プログラミングを体験。タイピングゲームで友達と競ったり、ゲームを作ってみたりと、楽しみながらプログラミングの夢中になっていた。世界に夢中になっていた。月までの全4回の予定日、第2回は10月22日、第3回は11月12日に実施する。問い合わせはサテライト☎67511まで。



声をいただくことができました。手に自治体の避難の軌跡、役場連絡先、避難区域の変遷を紹介方、本当にありがとうございます。復興への槓音響く郡内、新しく出来る有の災害からの復興推進のあり方について、ざっくばらんに町村の役場職員で構成する「ふたばの明日を考える会」と福島大学FURU相双地域支援サテライト無事に発行すること催しており、昨年春の会議で出た意見がたばぐるぐるMAPり、8町村の地図で、地図作りへと動き出アヤソリシステムをリリースしました。今回も、各町村の職員からの情報などを元に、地図を編集致しました。配布しています。昨年11月に第1弾をリリース、お陰様で皆様からは好評の月までの8町村の年

**ふたばぐるぐるMAP**  
 第2弾  
**完成しました!**

只今配布中



配布中のA2サイズで印刷し、ご利用下さい。